



# アンドラ・プラデシュ州概要

2024年9月  
在チェンナイ総領事館

## 1 基礎データ

- \* 州都: アマラヴァティ
- \* 人口: 5278万7000人(2021年推計)
- \* 面積: 16万205km<sup>2</sup>(県(District): 26)

- \* 識字率: 67.35%(男性: 74.77%、女性: 59.96%)(2011年)
- \* 宗教別人口比率: ヒンドゥー教; 90.87%、イスラム教; 7.33%、キリスト教; 1.38%(2011年)
- \* 主要言語: テルグ語

## 2 政治

### (1) 州政府

- \* 州知事: サイド・アブドゥル・ナズィール  
(Syed Abdul Nazeer)  
(2023年2月～)
- \* 州首相: チャンドラバブ・ナイドゥ  
(Chandrababu Naidu)(TDP)(2024年6月～)



ナイドゥ州首相

### (2) 州議会: 二院制

- 下院(定員: 175)(任期5年)(2029年4月任期満了)
- \* 与党: テルグ・デサム党(TDP)135、ジャナセナ党(JnP)21、インド人民党(BJP)8
  - \* 野党: YSR kongress (YSRCP)11
- 上院(定員: 58)(任期6年、2年毎に3分の1の改選)
- \* 与党: テルグ・デサム党(TDP)15、インド人民党(BJP)2など
  - \* 野党: YSR kongress (YSRCP)32

### (3) 概況

2024年5月の州議会選挙で、ナイドゥ党首率いるTDPなどの野党連合がレッディ州首相(当時)のYSRCPに大勝し、政権交代が実現。ナイドゥ州首相は4回目の政権下で、中央でのBJPとの連立をテコに懸案となっている「特別カテゴリー地位(SCS)」の問題の解決や、首都アマラヴァティの開発などに取り組むとしている。

## 3 経済

### (1) 主要指標

- \* 名目州内総生産(GSDP): 14兆3967億ルピー(2023年度)
- \* 1人当たり所得: 24万2479ルピー(2023年度)
- \* 実質GSDP前年度比成長率: 10.44%(2023年度)

### (2) 特徴

主要産業は医薬品、電子機器、食品加工、繊維、農畜産業、水産業など。電子機器生産高と自動車輸出高はいずれもインド全体の10%を占める。スリシティ、アダニ港湾経済特区のほか、ファーマシティ、アパレルシティなど分野別の工業団地も設置。沖合のクリシュナ・ゴダバリ盆地に豊富な埋蔵石油・天然ガスを有するほか、鉱物資源にも恵まれ、ビシャカパトナム港を始めとした港湾インフラも充実。産業構成比は第一次産業32%、第二次産業28%、第三次産業40%(2023年度)。

### (3) 日系企業の動向

進出日系企業: 18社/132拠点(2023年10月現在)。主な進出企業はいすゞ、東レ、ユニ・チャーム、コベルコ、エーザイ、THKなど。日系工業団地: スリシティに日系企業28社入居。2019年8月に州内の工場等で従業員の75%以上を州内居住者から雇用することを義務付ける州法が公布。州政府が投資インセンティブとして掲げてきた税や電気代の未払い、固定資産税の年5%の増加、停電等、投資環境の課題もある。スリシティ工業団地に入居する日系企業が合同で日本式ものづくり学校(JIM)、明電舎が寄附講座(JEC)を開講。

## 4 在留邦人

- \* 在留邦人数: 90人(2024年9月)